

令和 5 年度第 2 回岡崎市放課後児童クラブ支援員研修会レポート

【日時】 2023 年 10 月 11 日（水）9 時 30 分～10 時 30 分

【会場】 岡崎市役所福祉会館 6 階大ホール

【内容】 防災減災講座

【講師】 岡崎市防災課

【クラブ】（ あおぞらクラブ ）

【名 前】（ 朴 鶴 順 ）

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

本講義では、学童保育指導員として「岡崎市の災害リスク状況」について理解したわけだが、広報「おかざき」より把握する以上に岡崎市民の一人として、あおぞらクラブの在る矢作地域の地域診断について、詳しく学習できた。国指定の一級河川である矢作川はその奥矢作の地にアーチ式ダムを設備するまでは、台風による水害を大門地域で堤防決壊として水害を繰り返す歴史的経過があり、その直近としては「伊勢湾台風」が挙げられる。甚大な人的物的被害をもたらした台風であるものの、時間の経過とともに風化しており、もはや忘却されている風もある。毎年 9 月 1 日に愛知県や岡崎市からの声かけもあまりないと感じられるくらいである。が、しかし、今回、学童保育に携わることとなり、指導員こそは「忘却」ではなく「リスクの理解」と「原則的な行動」を重要視すべきであると実感した。その理由は、あの仙台の小学校教員らの「つなみ」襲来リスク対応裁判の一部始終にある。あの時の教員らの判断が児童の生死を決定し大参事になった事実より、矢作地区における災害時の対応を正職員の皆様とともにパート職員として真剣に対応したいと思う。大災害は忘れたころにやってくるという慣わし通りに、本講義の毎年参加重要性を NPO 最高責任者にお伝えし、来年度も参加できる機会を与えられるよう、希望します。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、研修終了後、2 週間以内です。常勤・専任指導員に手渡し、または、okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。